

トピックス

県内初 環境省による第4回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン(間接金融部門)」において「特別賞」を受賞

2023年2月に、環境省が主催する、第4回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門において、特別賞を受賞いたしました。

琉球銀行が「気候変動リスクの把握と対策」をマテリアリティ(重要課題)の一つとして特定し、その対応策として2022年9月に構築した「ZEP Ryukyu」※について、地域を巻き込んだ脱炭素経営の取り組みであると評価されての受賞となりました。

※ZEP Ryukyu(ゼップ リュウキュウ)とは

ZEP Ryukyu(Ryukyu net ZERO Energy Partnership リュウキュウ ネット ゼロ エネルギー パートナーシップ)は、沖縄県の脱炭素社会実現のため県内でのZEH・省エネ住宅の普及を目的としたZEH・省エネ住宅建築に携わる事業者の連携体制です。



🏆 選定理由(環境省より)

1. 琉球銀行は、経営陣の主導でサステナブル経営に舵を切り、急速にESG金融の取り組みを進めており、地域の自然環境や社会の特性を踏まえて「気候変動リスクの把握と対策」をマテリアリティと特定。
2. マテリアリティ実現の取り組みとして民生部門における脱炭素化、特にZEHに的を絞った取り組みを開始した点が優れている。

国際的環境評価機関CDPにおけるB評価認定について

環境評価の情報開示に国際的に取り組む非政府組織(NGO)であるCDP(シーディーピー)から、気候変動に対する「目標設定」「行動」「透明性」などの取り組みが評価され、上位から3番目の「B」評価に認定されました。

CDPは国際的な非営利組織で、運用資産総額130兆米ドル(2022年12月時点)を超える投資家を代表して、毎年、企業に「気候変動」、「水セキュリティ」、「フォレスト」に関する調査を実施し、その結果を8段階(A、A-、B、B-、C、C-、D、D-)で評価しています。

琉球銀行は2022年度に初めてCDP気候変動質問書への自主回答を行い、「B」評価に認定されました。

琉球銀行では「気候変動リスクの把握と対策」をマテリアリティ(重要課題)の一つとして特定し、環境関連商品の提供や様々な企業との連携、事業活動におけるCO2排出量の削減などの取り組みを積極的に進めています。



トピックス

株式会社リウコムの子会社化について

金融機関や事業会社を取り巻く環境は大きく変化しており、特に、デジタルトランスフォーメーションの進展により、琉球銀行グループおよびグループのお客さまのデジタル戦略推進ニーズは今後ますます多様化・複雑化・高度化していくことが見込まれます。

このような状況のもと、琉球銀行はIT事業を営むリウコムを完全子会社化いたしました。リウコムのIT技術力と琉球銀行の事業性評価に基づくソリューション提案力を融合することにより、地元企業の経営課題の解決およびIT化の推進に貢献してまいります。



株式会社沖縄海邦銀行との共同出資会社の設立について

琉球銀行と沖縄海邦銀行(頭取 新城 一史)は、両行が共同で出資する新会社を設立いたしました。本件は、両行の現金輸送・行内メール便等の業務を受託する共同出資会社を設立することにより、両行の業務を集約・再編、効率化することで、現金やメール便の配送コスト等の削減を目指すものです。また、両行の現金輸送・行内メール便の運行頻度の減少により、沖縄県におけるCO2排出量削減にも貢献が期待されます。

共同出資会社の概要

商号	ゆいパートナーサービス株式会社
所在地	沖縄県浦添市屋富祖三丁目33番1号
事業内容	一般貨物自動車運送事業、警備業等
資本金	1,000万円
設立日	2023年2月7日
業務開始日	2023年中(予定)
株主および持株比率	琉球銀行:50%、沖縄海邦銀行:50%